

## 東海北陸自動車道 全線開通および4車線化完成後の交通状況【速報】

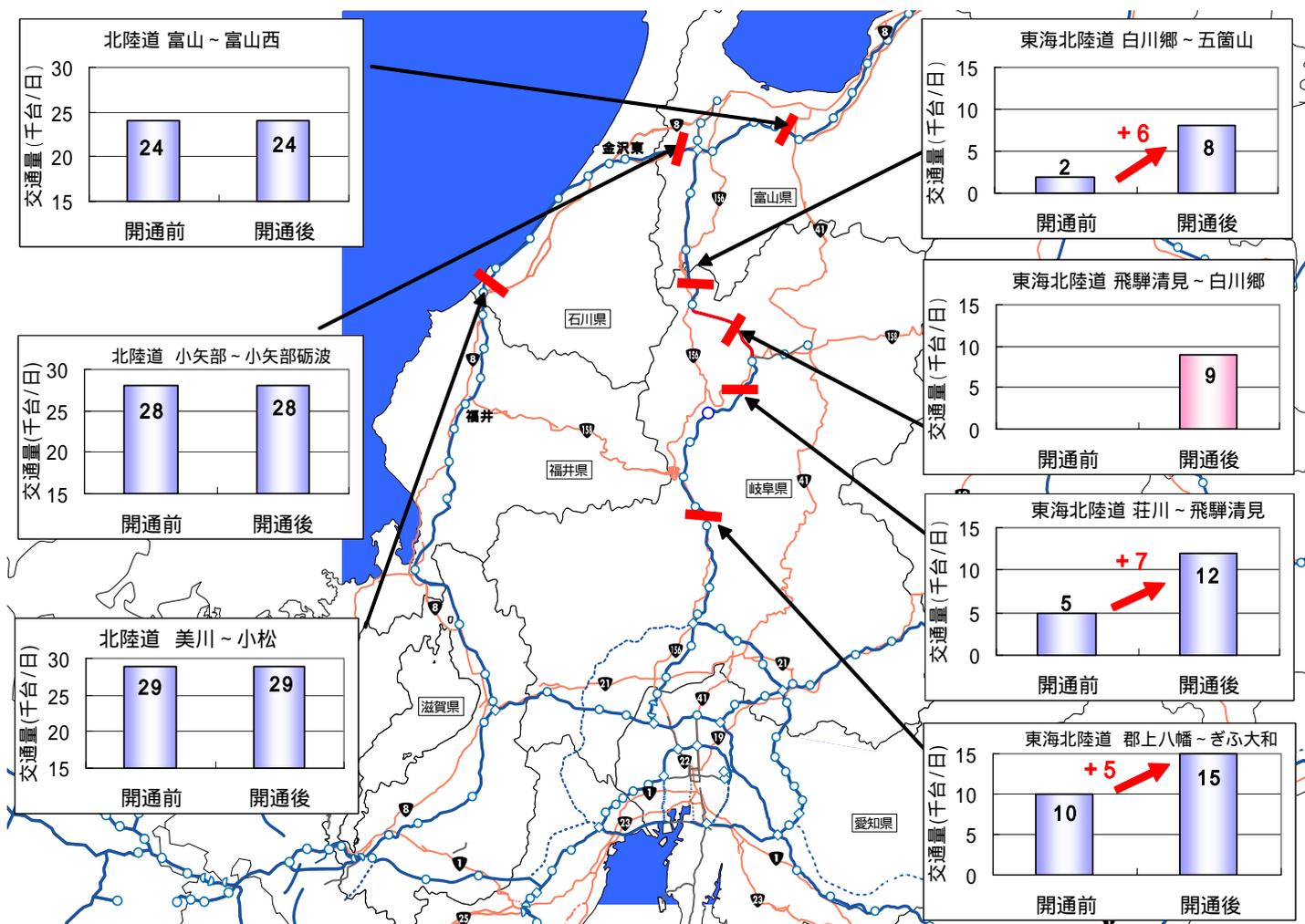
平成20年7月5日(土)に開通した東海北陸自動車道 飛騨清見IC～白川郷IC間の開通後の交通状況及び7月18日(金)に完成した瓢ヶ岳PA～郡上八幡IC間の4車線化後の交通状況をとりとめましたのでお知らせします。

### (1) 飛騨清見IC～白川郷IC間 新規開通後の交通状況

東海北陸自動車道 飛騨清見ICから白川郷ICまでの交通量は、約9千台/日(平日平均約7千台/日、休日平均約15千台/日)でした。  
 なかでも夏休み最初の3連休中の20日(日)は、約20千台/日のご利用を頂きました。  
 (最大日交通量)

同期間の東海北陸自動車道の交通量を前年度と比較すると、荘川IC～飛騨清見IC間は、約7千台/日、白川郷IC～五箇山IC間では約6千台/日増加しました。

同期間の北陸自動車道の交通量を前年度と比較すると、ほぼ同様の交通量となっています。



交通量計測装置によるデータを速報値として記載。

飛騨清見IC～白川郷IC 開通前は、平成19年7月8日(日)から7月24日(火)までの日平均交通量を記載。

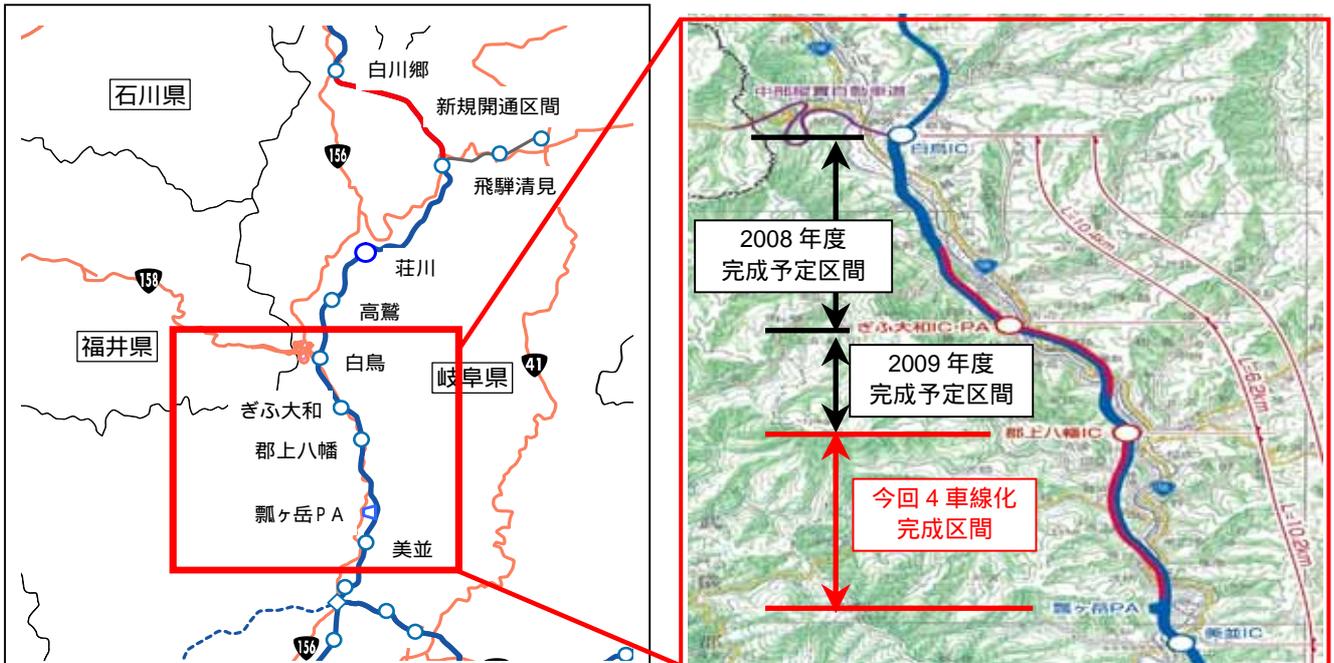
飛騨清見IC～白川郷IC 開通後は、平成20年7月6日(日)から7月22日(火)までの日平均交通量を記載。

## (2) 瓢ヶ岳PA～郡上八幡IC間 4車線化完成後の交通状況

美並IC～郡上八幡IC間の7/19(土)～7/21(月・祝)の3日間の平均日交通量は約3万1千台/日でした。

交通量の特に多かった昨年のお盆混雑時期の渋滞状況を比較すると、今回4車線化が完成した美並IC～郡上八幡IC間で渋滞は発生しませんでした。

なお、4車線化工事中の郡上八幡IC～ぎふ大和IC間で渋滞が発生しましたが、日交通量は4車線完成後が多いものの、渋滞は大幅に減少しました。



### 【4車線化完成前後の交通量及び渋滞状況】

	交通量 美並～郡上八幡 (郡上八幡～ぎふ大和)	渋滞発生区間	最大渋滞長 (上り/下り) km	渋滞時間 (上り/下り) 時間	渋滞量 (上下計) km・時間
4車線化完成後					
【H20.7.19(土)】	30,300台/日 (23,600台/日)	郡上八幡 ～ぎふ大和  美並～ 郡上八幡 で渋滞せず	- / 10.5	- / 5.4	28.4
【H20.7.20(日)】	34,000台/日 (26,300台/日)		11.6 / 16.5	5.8 / 6.1	83.9
【H20.7.21(月・祝)】	29,300台/日 (22,200台/日)		12.8 / 5.9	5.7 / 1.4	40.6
3日間平均	31,200台/日 (24,000台/日)		8.1 / 11.0	3.8 / 4.3	50.9
4車線化完成前【昨年】 <sup>(2)</sup>	27,500台/日 (23,500台/日)	美並 ～郡上八幡	19.2 / 13.8	5.4 / 9	106.4

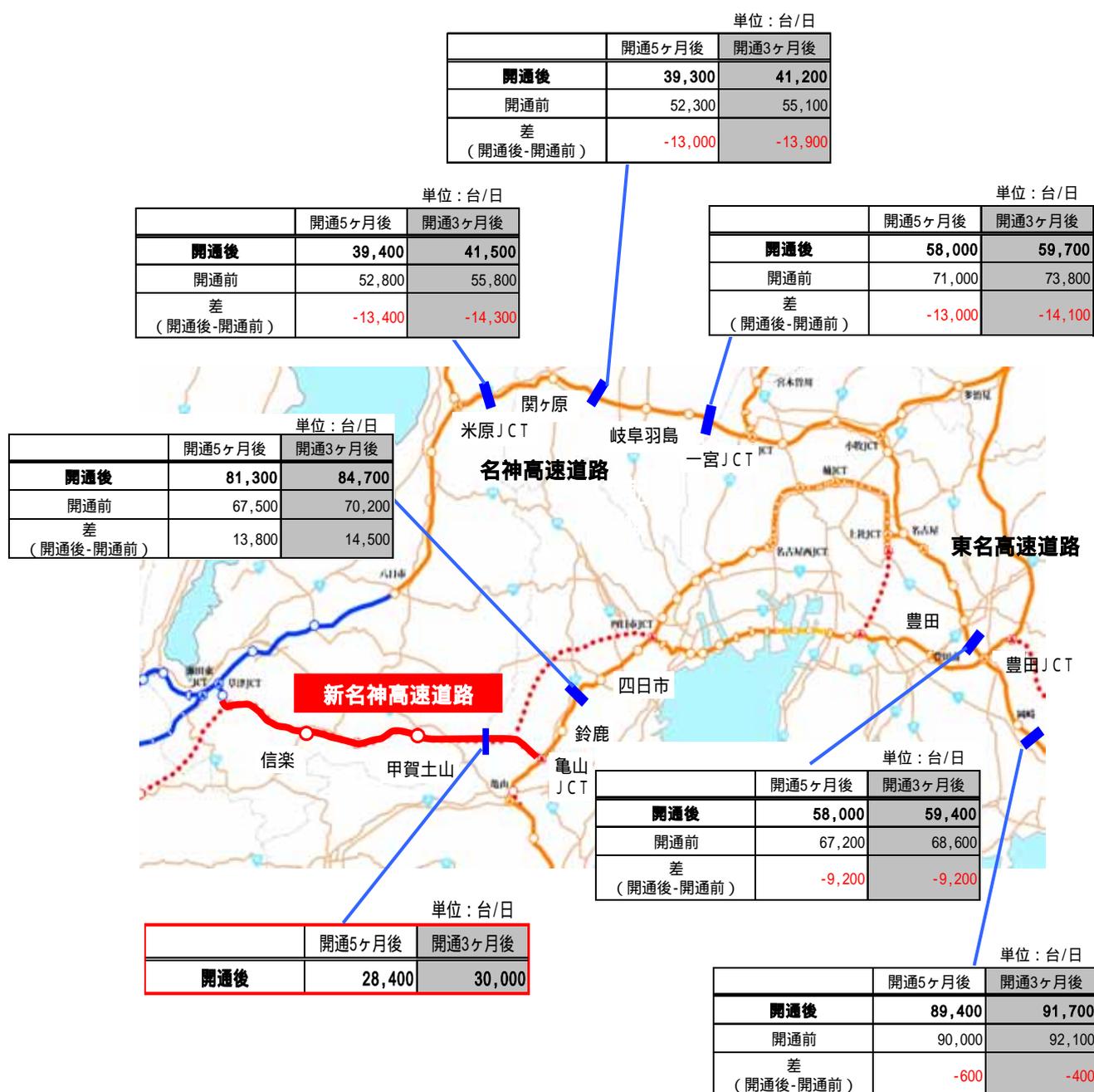
1 渋滞量とは渋滞の規模を表す指標であり、(最大渋滞長×渋滞時間)/2で計算

2 昨年のお盆混雑期間(8/12～8/14)の平均値

## < 参 考 > 新名神高速道路開通後 5 ヶ月間の交通状況

開通後 5 ヶ月の新名神高速道路（亀山 JCT ~ 甲賀土山間）の平均交通量は約 28,000 台/日となり、開通後 3 ヶ月の約 30,000 台/日と同程度の御利用を頂いております。

並行する名神高速道路の交通量を前年度と比較すると約 13,000 台/日 ~ 14,000 台/日の減少、同様に東名高速豊田 JCT ~ 豊田間では約 9,000 台/日減少しており、開通後 3 ヶ月と同様新名神高速道路への転換が図られていると推測されます。



### 交通比較期間

開通 5 ヶ月後 開通後：平成 20 年 2 月 24 日（日）～平成 20 年 7 月 22 日（火）  
 開通前：平成 19 年 2 月 25 日（日）～平成 20 年 7 月 24 日（火）  
 開通 3 ヶ月後 開通後：平成 20 年 2 月 24 日（日）～平成 20 年 5 月 23 日（金）  
 開通前：平成 19 年 2 月 25 日（日）～平成 20 年 5 月 25 日（金）